

2016年1月15日

報道関係各位

三井不動産リアルティ株式会社
株式会社クリューシステムズ

「三井のリパーク」駐車場に クリューシステムズの高機能セキュリティシステムを導入

～ 利用者・オーナーだけでなく近隣住民も安心できる駐車場づくりで地域社会に貢献 ～

三井不動産リアルティ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山代裕彦、以下「三井不動産リアルティ」)は、2016年1月以降に新たに開設する「三井のリパーク」駐車場に、高画質な映像データ分析を低コストで行うことが可能な監視カメラ、および監視システムを特徴とする、株式会社クリューシステムズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:平山勝彦、以下「クリューシステムズ」)の高機能セキュリティシステムを導入いたします。

三井不動産リアルティでは、これまでも環境配慮型や非常時対応型など、「社会インフラ」としての機能にこだわった駐車場づくりを進めてまいりましたが、この度その一環として、クリューシステムズの高機能セキュリティシステムを導入し、標準装備することとしました。

今回の高機能セキュリティシステム導入により、事業地内の事故・犯罪に対する抑止力を向上するとともに、不正駐車対策に活用するなど、より円滑な駐車場運営が可能となります。また、駐車場の利用者・オーナーだけでなく、近隣住民の皆さまにも安心感をご提供することで、地域社会にも貢献いたします。

この度「三井のリパーク」駐車場に導入するクリューシステムズの高機能セキュリティシステムは、通信機能や録画機能などが内蔵された高機能なカメラと、同社が開発した独自のクラウド技術とのパッケージにより、遠隔地の映像データ閲覧や映像データ分析ソフトを従来のシステムに比べ、極めて低コストで利用できるセキュリティシステムです。すでに鉄道踏切等の遠隔監視のほか、出資を受けている三井不動産株式会社(所在:東京都中央区 代表取締役社長:菰田正信)の大規模施設等でも多数採用されています。

※クリューシステムズのクラウド型映像監視ソリューションの詳細については、添付資料をご参照ください。

今後、三井不動産リアルティおよびクリューシステムズは、車番認証等の映像データ分析ソフトを活用した新たなサービスの開発を共同で進め、駐車場の付加価値向上に取り組んでまいります。

本セキュリティシステムは、1月15日の「三井のリパーク」天満3丁目第3駐車場を皮切りに、既存の「三井のリパーク」駐車場についても、2016年2月から順次設置を開始してまいります。

三井不動産リアルティは、今後も、「安心・安全」、「先進性」、「環境配慮」、「災害支援」の4つのキーワードを軸に、社会に貢献できる駐車場サービスを展開してまいります。



屋外筒型カメラ(イメージ)

■三井不動産リアルティ株式会社 会社概要

本 社:東京都千代田区霞が関3丁目2番5号

設 立:1969年(昭和44年)7月15日

資 本 金:20,000百万円

代 表 者:代表取締役社長 山代 裕彦

事業内容:不動産仲介事業、駐車場事業ほか

■株式会社 クリューステムズ 会社概要

本 社:東京都千代田区霞が関3丁目2番6号

設 立:2008年(平成20年)1月25日

資 本 金:133百万円

代 表 者:代表取締役社長 平山 勝彦

事業内容:動画テレマティクス事業、クラウド型監視事業

本件については、以下の記者クラブへ資料を配布しております。
国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・自動車産業記者会

<添付資料>

1. クリューステムズのクラウド型映像監視ソリューション「SeeIT」の詳細

～ 本件に関するお問い合わせは ～
三井不動産リアルティ株式会社 企画部 秘書広報グループ
薄木・妹尾 TEL03(6758)4062

株式会社クリューシステムズ 営業本部
福田 TEL03(6206)6170

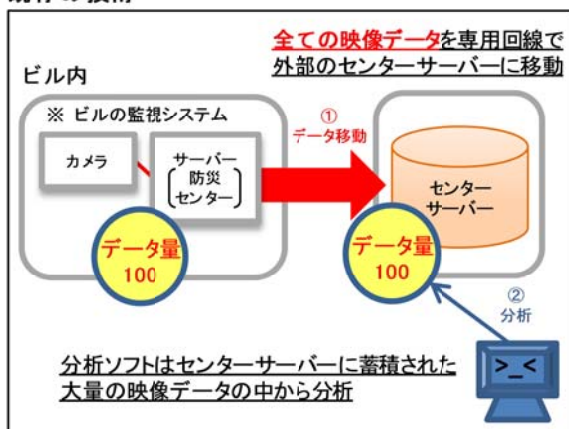
<添付資料 1> クリュースystemズのクラウド型映像監視ソリューション「SeeIT」の詳細

クリューシステムズの製品の強みは、高画質映像データをネット上で簡単に扱うことを可能にし、かつその通信コストを大幅に削減できるクラウド技術です。このクラウド技術を用いた機器および閲覧・分析サービスが、クリューシステムズのクラウド型映像監視ソリューション「SeeIT」です。（以下、「SeeIT」）。

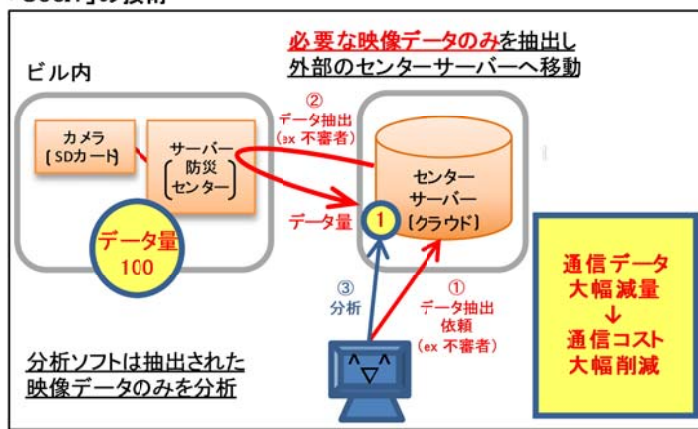
【「SeeIT」がコスト削減できる理由】

「SeeIT」は、既存の技術と比較し（以下比較図参考）、監視映像データを高画質、高精細のままカメラ内蔵のSDカードや防災センターのサーバーなど複数の場所に分散して保存し、必要に応じてクラウド上のセンターサーバーに送信されるため、無駄なデータ移動を防ぎ通信コストを抑えることができます。三井不動産では、管理するオフィスビル、商業施設、マンション、物流施設等における監視カメラで「SeeIT」の導入を進めており、他社でもすでに鉄道の踏切など交通インフラ監視にて採用されています。また、カメラ本体がアナログ、デジタル双方の同時出力に対応している大規模施設向け「SeeIT」対応型監視カメラシステムを共同で開発し、共同特許を申請しております。この技術により既設の監視システムを使用したままクラウド環境に接続して管理することができるため、既存施設各所での導入が進んでいます。

既存の技術



「SeeIT」の技術



【「SeeIT」が映像プラットフォームを構築】

三井不動産およびクリューシステムズは、「SeeIT」を、今後活用の範囲が大幅に広がっていくであろう映像データ活用分野の、新たな映像プラットフォームと位置付けています。「SeeIT」対応型カメラは、ライセンスを提供することによりクリューシステムズのみならず他社でも製造可能とし、また映像分析ソフトについても各ソフト開発会社が製作可能とすることで、それぞれの製造コストの削減、利用者の増加につながり、今後5年で普及率の大幅拡大を見込んでいます。

